

新庄市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
22年度	人 38,787	千円 15,005,213	千円 342,049	千円 2,690,817	% 17.9	% 18.7

(2) 職員給与費の状況（普通会計当初予算）

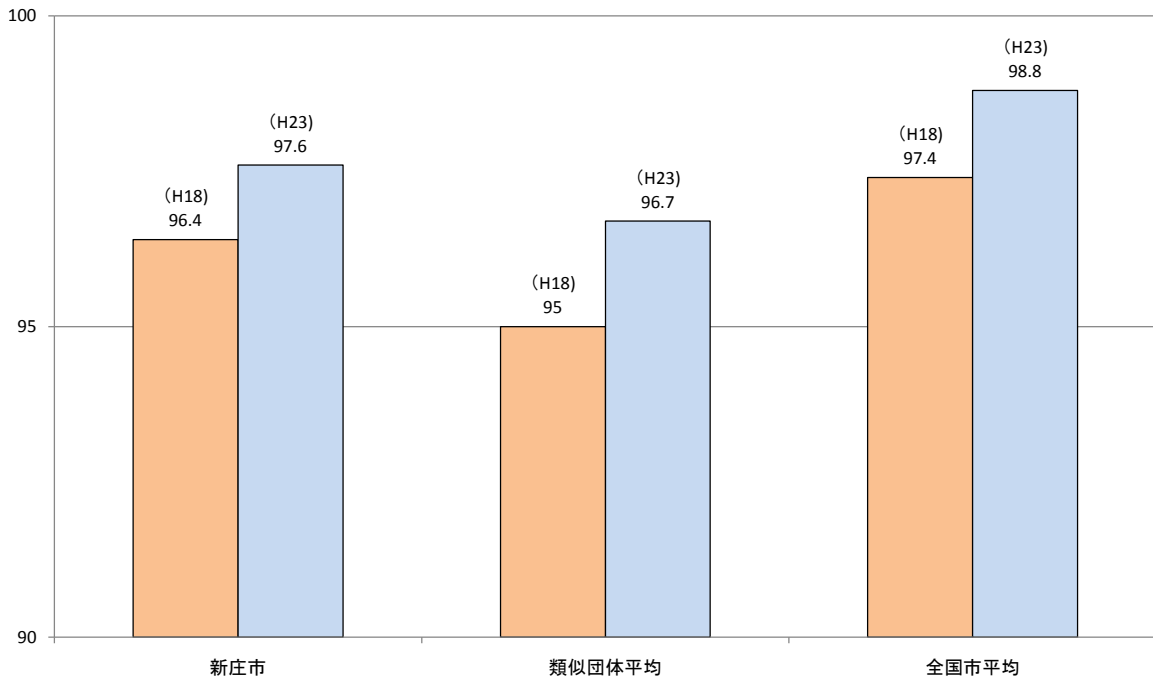
区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
23年度	人 295	千円 1,179,057	千円 140,709	千円 405,305	千円 1,725,071	千円 5,848	千円 5,745

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、23年4月1日現在の人数です。

(3) 特記事項

- ※ 管理職手当について定額化し、50%削減
- ※ 期末・勤勉手当について、基礎額の傾斜配分を20%削減
(3級:5%→4%、4・5級:10%→8%、6級:15%→12%)
- ※ 平成19年県人事委員会勧告による給与改定の実施見送り
(国:1人につき6,000円→6,500円)

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

2 一般行政職給料表の状況（23年4月1日現在）

（単位：円）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の 給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の 給料月額	243,700	309,200	356,400	390,100	402,500	424,600

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（23年4月1日現在）

1) 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
新庄市	43.9 歳	334,900 円	414,318 円	355,267 円
山形県	44.0 歳	349,420 円	431,600 円	376,400 円
国	42.3 歳	327,205 円	—	397,723 円
類似団体	43.1 歳	325,607 円	384,184 円	351,717 円

2) 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
新庄市	52.2 歳	40 人	366,300 円	409,518 円	383,585 円	—	—	—	—
うち学校調理業務	50.3 歳	9 人	363,300 円	398,033 円	373,591 円	調理士	40.3 歳	217,500 円	1.83
うち用務員	54.1 歳	14 人	375,000 円	399,843 円	397,234 円	用務員	53.8 歳	209,700 円	1.90
うち運転業務	55.7 歳	3 人	388,800 円	454,266 円	403,856 円	自家用兼用自動車運転手	50.0 歳	187,300 円	2.42
その他の職種	49.2 歳	14 人	354,700 円	416,850 円	372,041 円	—	—	—	—
山形県	43.9 歳	551 人	322,000 円	368,800 円	343,100 円	—	—	—	—
国	49.5 歳	3,689 人	283,862 円	—	321,662 円	—	—	—	—
類似団体	49.0 歳	27 人	309,198 円	335,585 円	322,040 円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
新庄市	—	—	—
うち学校調理業務	6,212,996 円	2,957,200 円	2.10
うち用務員	6,312,216 円	2,943,200 円	2.14
うち運転業務	7,016,392 円	2,699,800 円	2.60
その他の職種	6,415,700 円	—	—

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。
 ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一定しているものではありません。
 ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況（23年4月1日現在）

区分	新庄市	山形県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	I種 181,200 円 II種 172,200 円
	高校卒	140,100 円	140,100 円
技能労務職	高校卒	135,600 円	—
	中学卒	122,400 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（23年4月1日現在）

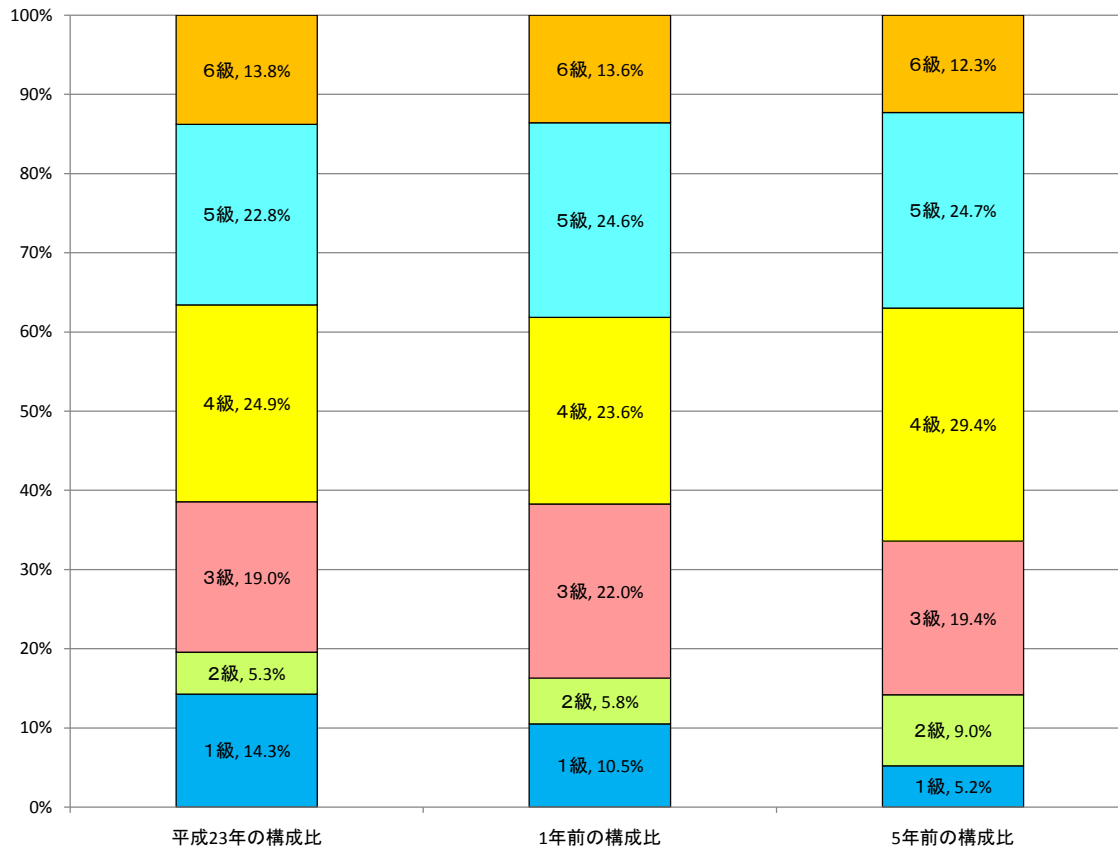
区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	273,700 円	339,100 円	363,200 円
	高校卒	235,600 円	290,400 円	325,500 円
技能労務職	高校卒	—	—	310,100 円
	中学卒	—	—	—

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（23年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事・技師	27 人	14.3%
2 級	主事・技師	10 人	5.3%
3 級	主任	36 人	19.0%
4 級	主査	47 人	24.9%
5 級	室長・担当主査	43 人	22.8%
6 級	課長・主幹	26 人	13.8%

(注) 1 新庄市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

毎年1月1日に、所属長が所属員の勤務実績を評価し、昇給の号給数を決定しています。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

新 庄 市		山 形 県		国	
1人当たり平均支給額(22年度) 1,251 千円		1人当たり平均支給額(22年度) 1,535 千円		—	
(22年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.40)月分 勤勉手当 1.20 月分 (0.60)月分		(22年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.40)月分 勤勉手当 1.20 月分 (0.60)月分		(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65)月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

6月1日及び12月1日を基準日とし、それぞれ基準日に在職する職員に対し、基準日以前6か月以内の期間における勤務実績により、勤勉手当を支給しています。
成績率を勤勉手当に反映させるため、今後、人事評価制度の導入を検討しています。

(2) 退職手当 (23年4月1日現在)

新 庄 市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例加算:2~20%加算		その他の加算措置	定年前早期退職特例加算:2~20%加算	
1人当たり平均支給額	5,529 千円	25,344 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、22年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当

(23年4月1日現在)

支給実績(22年度決算)		510 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)		510 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
東京都特別区	18 %	1 人	18 %

(4) 特殊勤務手当 (23年4月1日現在)

支給実績(22年度決算)	18 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	3,000 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(22年度)	2.0 %		
手当の種類(手当数)	6		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
防疫作業手当	右記に従事した職員	感染症防疫業務	日額 300円
行旅病人取扱手当	右記に従事した職員	行旅病人の取扱業務	1件当たり 1,000円
行旅死亡人取扱手当	右記に従事した職員	行旅死亡人の取扱業務	1件当たり 2,000円
神室荘死亡人取扱手当	右記に従事した神室荘職員	神室荘の在荘者が死亡した場合の取扱業務	1件当たり 1,500円
ひとりぐらしの死亡人取扱手当	右記に従事した職員	ひとりぐらしの老人等が死亡した場合の取扱業務	1件当たり 2,000円
特定毒物による害虫防除作業に従事する職員の手当	右記に従事した職員	特定毒物による害虫防除業務	日額 250円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(22年度決算)	49,542 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	163 千円
支給実績(21年度決算)	38,487 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	132 千円

(6) その他の手当 (23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価(月額)	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	・配偶者:13,000円、配偶者以外:6,000円 ※配偶者が扶養親族でない場合:1人目のみ6,500円 ※配偶者がいない場合:一人目のみ11,000円 ※配偶者以外で、満16歳になる年度から満22歳になる年度までの期間の扶養親族がある場合:1人につき5,000円加算	異なる	1人につき6,500円	30,450 千円	211,458 円
住居手当	・最高27,000円とし、借家・借間に応じた額	同じ	-	7,393 千円	321,435 円
通勤手当	・交通機関利用者:運賃相当額(最高55,000円) ・自動車等利用者:通勤距離に応じた額(最高44,900円)	異なる	自動車等利用者について最高額24,500円	13,555 千円	77,902 円
管理職手当	行政職6級(課長、主幹)の職員に対し、職責に応じて支給 ※課長(部門統括)51,900円 課長(上記以外)41,600円 主幹 20,800円 ※平成23年度は50%削減	同じ	支給割合最高25%	6,407 千円	228,821 円
管理職特別勤務手当	管理職手当を支給される職員が、臨時又は緊急の必要性により休日等に勤務した場合に支給	異なる	1回当たり 課長職:4,000円 主幹職:3,000円 (6時間を超えた場合は1.5を乗じた額)	0 千円	- 円
単身赴任手当	23,000円+距離に応じた加算(最高45,000円)	同じ	-	492 千円	492,000 円
災害派遣手当	滞在日数に応じた定額(最高6,620円)	同じ	-	0 千円	- 円
宿日直手当	勤務1回あたり最高7,200円 ※主な支給対象:神室荘における宿日直勤務(1回あたり5,900円)	同じ	-	218 千円	16,769 円
寒冷地手当	世帯区分に応じた定額(最高17,800円)	同じ	-	19,492 千円	64,330 円
休日勤務手当	休日等の正規の勤務時間中に勤務を命じられた場合、勤務1時間につき1時間当たりの給与額に100分の135を乗じた額	同じ	-	2,724 千円	8,961 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として深夜(22:00~翌日の5:00)に勤務した場合、勤務1時間につき1時間当たりの給与額に100分の25を乗じた額	同じ	-	0 千円	- 円

6 特別職の報酬等の状況（23年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	市区町村長	460,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	(920,000 円)		940,000 円 /	259,000 円
	副市町村長	420,000 円		
	(700,000 円)		750,000 円 /	249,000 円
報 酬	議 長	448,000 円	545,000 円 / 230,000 円	
	副 議 長	395,000 円	474,000 円 / 200,000 円	
	議 員	370,000 円	450,000 円 / 180,000 円	
期 末 手 当	市区町村長	(22年度支給割合)		
	副市町村長	2.85 月分	※給料月額に40%を加算し、支給月数を乗じた額	
	議 長	(22年度支給割合)		
	副 議 長	2.85 月分	※報酬に40%を加算し、支給月数を乗じた額	
	議 員			
	備 考	※1期の手当額は、減額措置後の給料を基準として算定する。		
退 職 手 当	市区町村長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副市町村長	給料月額×在職月数×0.567	12,519,360 円	任期ごと
	備 考	給料月額×在職月数×0.378	7,620,480 円	任期ごと

(注)1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額です。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給額に基づき、1期

(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

7 職員数の状況

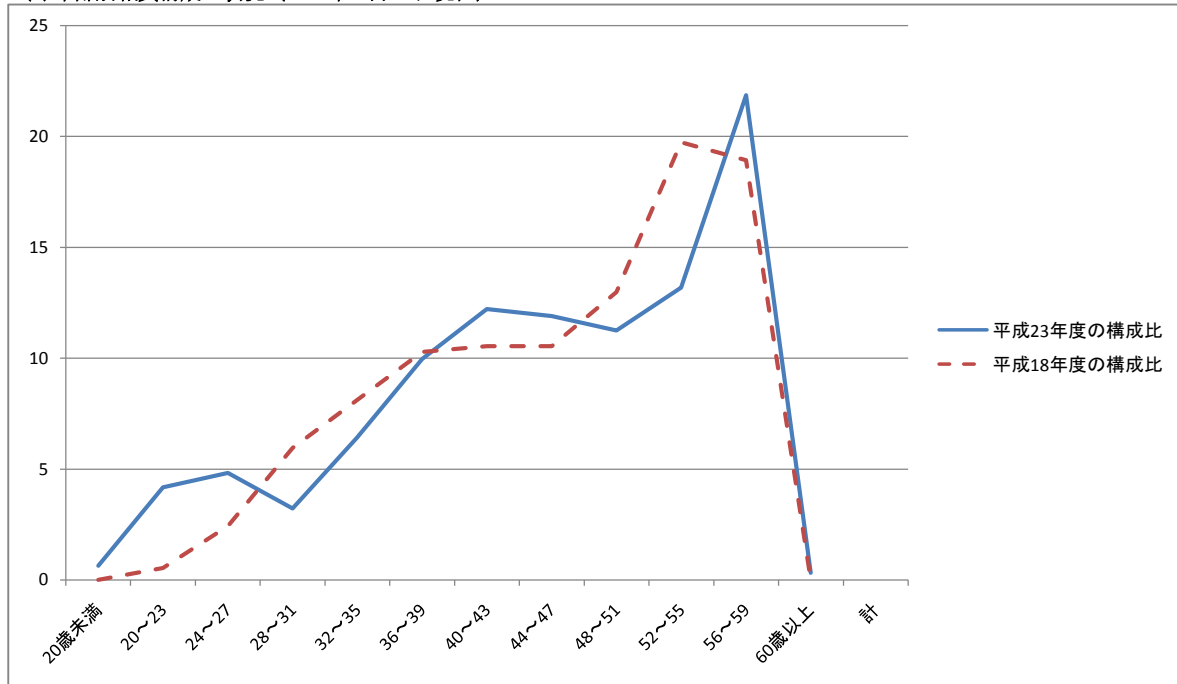
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成22年	平成23年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	4	5	1	業務拡充による増員 業務減による減員 業務の見直し 業務の見直し 業務拡充による増員 業務の見直し 業務の見直し
		総務	67	65	▲2	
		税務	24	23	▲1	
		労働	1	1	0	
		農林水産	23	21	▲2	
		商工	10	13	3	
		土木	24	23	▲1	
		民生	65	61	▲4	
		衛生	17	17	0	
	計	235	229	▲6	<参考> 人口1万人当たり職員数 59.04 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 72.43 人)	
	教育部門	47	46	▲1	業務の見直し	
	小計	282	275	▲7	<参考> 人口1万人当たり職員数 70.90 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 94.86 人)	
公営企業会計等部門	水道	7	7	0	機構改革による減員 業務の見直し	
	下水道	9	8	▲1		
	その他	23	21	▲2		
	小計	39	36	▲3		
合計		321	311	▲10	<参考> 人口1万人当たり職員数 80.18 人	
		[377]	[377]	[0]		

(注)1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況 (23年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳~23歳	24歳~27歳	28歳~31歳	32歳~35歳	36歳~39歳	40歳~43歳	44歳~47歳	48歳~51歳	52歳~55歳	56歳~59歳	60歳以上	計
職員数	2人	13人	15人	10人	20人	31人	38人	37人	35人	41人	68人	1人	311人

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

区 分 部 門	18年	19年	20年	21年	22年	23年	過去5年間 の増減数(率)
一般行政	250	244	239	233	235	229	▲21 (▲9.2%)
教 育	76	72	66	57	47	46	▲30 (▲65.2%)
普通会計計	326	316	305	290	282	275	▲51 (▲18.5%)
公営企業会計計	45	45	42	41	39	36	▲9 (▲25.0%)
総合計	371	361	347	331	321	311	▲60 (▲19.3%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数を記載しています。

8 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 21年度の総費用に占 める職員給与費比率
22年度	千円 1,011,410	千円 82,286	千円 62,952	% 6.2	% 8.0

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
22年度	人 7	千円 31,989	千円 3,146	千円 10,802	千円 45,937	千円 6,562

(参考)団体平均 一人当たり給与費
千円 6,443

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含みません。
2 職員数は、23年3月31日現在の人数です。

イ 特記事項

特になし。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(23年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
新 庄 市	46.7 歳	364,671 円	594,600 円
団 体 平 均	45.6 歳	362,100 円	535,892 円
事 業 者	-	-	-

- (注) 1 基本給は給料、扶養手当及び地域手当の合算額です。
2 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含みます。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

新 庄 市		団 体 平 均	
1人当たり平均支給額(22年度)		1人当たり平均支給額(22年度)	
1,543 千円		1,510 千円	
(22年度支給割合)		(22年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.55 月分	1.2 月分	- 月分	- 月分
(1.4)月分	(0.6)月分	(-)月分	(-)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

イ 退職手当(23年4月1日現在)

新 庄 市			団 体 平 均		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	- 月分	- 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	- 月分	- 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	- 月分	- 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	- 月分	- 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例加算:2~20%加算		その他の加算措置	定年前早期退職特例加算:2~20%加算	

ウ 地域手当

地域手当の制度はありません。

エ 特殊勤務手当(23年4月1日現在)

支給実績(22年度決算)	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(22年度)	0.0 %		
手当の種類(手当数)	1		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
危険手当	右記に従事した水道企業職員	劇物取扱業務	日額300円

オ 時間外勤務手当

支給実績(22年度決算)	768 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	109 千円
支給実績(21年度決算)	1,004 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	143 千円

カ その他の手当

手 当 名	内容及び支給単価(月額)	一般行政職の 制度との 異同	一般行政職の 制度と異なる 内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	・配偶者:13,000円、配偶者以外:6,000円 ※配偶者が扶養親族でない場合:1人目のみ6,500円 ※配偶者がいない場合:1人目のみ11,000円 ※配偶者以外で、満16歳になる年度から満22歳になる年度までの期間の扶養親族がある場合:1人につき5,000円加算	同じ	-	1,050 千円	262,500 円
住居手当	・最高27,000円とし、借家・借間に応じた額	同じ	-	0 千円	0 円
通勤手当	・交通機関利用者:運賃相当額(最高55,000円) ・自動車等利用者:通勤距離に応じた額(最高44,900円)	同じ	-	97 千円	48,600 円
管理職手当	行政職6級(課長、主幹)の職員に対し、職責に応じて支給 ※課長(部門統括)51,900円 課長(上記以外)41,600円 主幹 20,800円 ※平成23年度は50%削減	同じ	-	256 千円	255,500 円
管理職特別勤務手当	管理職手当を支給される職員が、臨時又は緊急の必要性により休日等に勤務した場合に支給	同じ	-	0 千円	0 円
単身赴任手当	23,000円+距離に応じた加算(最高45,000円)	同じ	-	0 千円	0 円
災害派遣手当	滞在日数に応じた定額(最高6,620円)	同じ	-	0 千円	0 円
宿日直手当	勤務1回あたり最高7,200円 ※主な支給対象:神室荘における宿日直勤務(1回あたり5,900円)	同じ	-	0 千円	0 円
寒冷地手当	世帯区分に応じた定額(最高17,800円)	同じ	-	509 千円	72,714 円
休日勤務手当	休日等の正規の勤務時間中に勤務を命じられた場合、勤務1時間につき1時間当たりの給与額に100分の135を乗じた額	同じ	-	57 千円	8,099 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として深夜(22:00~翌日の5:00)に勤務した場合、勤務1時間につき1時間当たりの給与額に100分の25を乗じた額	同じ	-	0 千円	0 円